

# 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

## 学校関係者評価報告書 (平成30年度)

実施日 令和元年9月7日

平成30年度自己点検・評価を基に評価実施

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組みについて

### 【評価委員】

学校教育法施行規則の規定により、平成30年度に学校関係者評価委員会規程を定め、平成31年4月1日に学校関係者評価委員会を設置し、在学生保護者、卒業生、卒業生保護者の3名の方々に評価委員を委嘱しました。

### 【評価方法】

評価委員の方々に、約2か月前に平成30年度自己点検・評価報告書を送付し、当日の段取りについて事務局から事前に説明した上で、令和元年9月7日（土）に学校関係評価委員会を実施しました。

当日は、委員の紹介を行った後、平成30年度自己点検・評価報告書の点検項目に沿って、各委員から質問、意見等を伺いました。

### 【報告書】

学校関係者評価委員会における委員会からの意見、感想を本報告書にとりまとめました。

### 【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 自己点検・評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

### 【今後の取り組み】

学校関係者評価委員会による評価結果については、校長以下、専任教員と事務局で組織する自己点検実施委員会で検討し、次年度以降の教育計画、教育課程編成、業務計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し可能な項目から実現に向けて取り組んで参ります。なお、自己点検評価報告書の作成と学校関係者評価は毎年継続して実施します。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校  
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会出席者（敬省略）

**【在学学生保護者兼卒業生】**

総合デザイン学科 プロダクトデザインコース 3年生保護者

前川 吉平

**【卒業生】**

総合アート学科プリントメイキング専攻卒業

大越 順子

**【卒業生保護者】**

上田 聖子

**【学校側】**

横溝 秀実（校長・委員長）

中野 木綿子（事務局事務長）

西谷 健（事務局課長）

平尾 敏之（事務局入学センター課長補佐）

## 基準1 教育理念・目的・育成人材像等

点検項目【1-1】理念・目的・育成人材像は定められているか

点検項目【1-2】学校の特色は何か

点検項目【1-3】学校の将来構想を抱いているか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

評価者の意見・質問

この項目の質問とは違うかもしれませんが、大阪万博に芸大グループとして何か参画される予定はありますか。

本校の回答

現在未定です。

## 基準2 学校運営

点検項目【2-1】運営方針は定められているか

点検項目【2-2】事業計画は定められているか

点検項目【2-3】運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検項目【2-4】人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検項目【2-5】意思決定システムは確立されているか

点検項目【2-6】情報システム化等による業務の効率化が図られているか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

評価者の意見・質問

特になし。

### 基準3 教育活動

点検項目【3-1】 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検項目【3-2】 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか

点検項目【3-3】 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検項目【3-4】 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか

点検項目【3-5】 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方針などが実施されているか

点検項目【3-6】 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検項目【3-7】 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検項目【3-8】 教員の専門性を向上させる研修を行っているか

点検項目【3-9】 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検項目【3-10】 資格取得の指導体制はあるか

#### 【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

#### 【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

#### 【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

#### □評価者の意見・質問

①意見ではありませんが、在学中にひとつの分野に特化してただそれだけを学んだだけではなく、色々な分野の先生から教えてもらえたということが、とてもよかったと思っています。さらに、今のカリキュラムは版画分野の学生でも1年次の前期は陶芸なども学べると聞きました。いいなと思います。

②取得できる資格の種類が少ないように思えます。社会に出てみてこういう資格をもっていればよかったと感じることもあり、検討願いたい。

#### □本校の回答

①あらゆることを学びたい、美術・工芸のことはすべて学びたいという学生のニーズには合っていますが、これだけを深く学びたいという学生にとって、他のことを学ぶ半年間がその学生にとって有意義なのかどうか、大学とは違う、専門学校としてのジレンマを抱えていることは確かです。

②資格取得のための授業を新たに開設することは、人事面、設備面、現在のカリキュラム等あらゆることを検討する必要があります。

現在は、一部のコースを対象にした資格取得に関する科目を設置していますが、全てのコースが学校設置基準よりやや多めの時間数を開講しているので、なかなか難しいです。しかし、今後、学生からの需要があれば、前向きに検討したいと思います。

#### 基準4 教育成果

点検項目【4-1】就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検項目【4-2】資格取得率の向上が図られているか

点検項目【4-3】退学率の低減が図られているか

点検項目【4-4】卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| 4 | ③ | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

□評価者の意見・質問

- ①就職先で、専門職で就職する学生の割合はどのくらいでしょうか。
- ②同じ学年でも入学時の能力に違いがあると思われませんが、高校で専門を学んだ人が多く入学してくるのでしょうか。

□本校の回答

- ①専門職の就職は過去3か年の平均は64%です。学生の志向も年々変わり、専門職での就職が低くなってきています。
- ②専門高校で学んで入学する学生は年により異なりますが、平均1割くらいです。初心者の方でも1年で能力は格段にアップします。

#### 基準5 学生支援

点検項目【5-1】就職に関する体制は整備されているか

点検項目【5-2】学生相談に関する体制は整備されているか

点検項目【5-3】学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備されているか

点検項目【5-4】学生の健康管理を担う組織体制があるか

点検項目【5-5】課外活動に対する支援体制は整備されているか

点検項目【5-6】学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検項目【5-7】保護者と適切に連携しているか

点検項目【5-8】卒業生への支援体制はあるか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| 4 | ③ | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

評価者の意見・質問

特になし。

本校から補足

学生相談に関する体制について：教員が毎回つける出席簿は事務局が保管し、留学生については毎日、その他の学生の出席状況については、1ヶ月に1度、出席状況を確認しています。出席状況が悪い学生については、事務局から電話連絡したり、書面で保護者宛に送付したりして、学生相談室のカウンセラーと連携しながら支援しています。

## 基準6 教育環境

点検項目【6-1】施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検項目【6-2】学外実習、インターンシップ、海外研修について十分な教育体制を整備しているか

点検項目【6-3】防災に対する体制は整備されているか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| 4 | 3 | ② | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| 4 | ③ | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

評価者の意見・質問

①日中作品交流展の時、上海美術学院での参加を希望しているにも関わらず、行けない学生もあったようですが、なぜでしょうか。

②施設のバリアフリー化はされないのでしょうか。

③大規模災害が起きたときのマニュアルはありますか。

本校の回答

①日中作品交流展は大阪芸大大学院、大阪芸大、大阪芸大短大部、本校のグループ校全体で取り組む行事のため、学校ごとに定員枠があります。派遣希望者が定員を上回った場合は、各学校で、抽選等の公平な方法により参加学生を決めています。

②B棟（工房棟）以外の建物については、過去数回検討されましたが、バリアフリー化はされておらず、デザイン性重視の建築物のため、外付けのエレベーター設置にしても構造上難しいです。ご意見については、今後の改善に向けて検討します。

③学校法人としては、平成21年度に塚本学院危機管理ガイドラインを制定しています。また、阪神大震災やJR福知山線脱線事故等の体験を経て、大規模災害が起きたときに何をすべきかという教訓はしっかりと持っており、記録も残しています。しかし、本校の災害マニュアルがあるかということに関しては、現在ありませんので、できるだけ早期に作成をします。そして地元消防署の協力の下、防災訓練も欠かさず行っていきます。

## 基準7 学生の募集と受け入れ

点検項目【7-1】学生募集活動は、適正に行われているか

点検項目【7-2】学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検項目【7-3】入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検項目【7-4】学納金は妥当なものとなっているか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| 4 | 3 | ② | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

□評価者の意見・質問

コースにより学生数にばらつきがあると思いますが、そういう場合は重点的にチラシを作成する等何か学生数確保の手段を講じていますか。学生の作品写真を色々な機会に見せることによってコースの勉強の内容がよりわかりやすく伝わるとおもいますが。

□本校の回答

本校はコースごとの定員を設けていませんので、ひとつのコースにだけ集中して広報予算をかけるという方法はとっていません。本校ホームページや、学校案内書、オープンキャンパスで本校の教育内容をしっかりと伝えていこうと思います。

## 基準8 財務

点検項目【8-1】中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検項目【8-2】予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検項目【8-3】財務について会計監査が適正に行われているか

点検項目【8-4】財務情報公開の体制整備はできているか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

□評価者の意見・質問

昨今の大学経営は厳しいと言われていますが、本当のところ財務状況はどうなのでしょう。

□本校の回答

ホームページで開示していますが、安定しています。

## 基準9 法令等の遵守

点検項目【9-1】法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検項目【9-2】個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検項目【9-3】自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検項目【9-4】自己点検・自己評価結果を公開しているか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

評価者の意見・質問

特になし。

## 基準10 社会貢献

点検項目【10-1】学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検項目【10-2】学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

評価者の意見・質問

特になし。

## 基準11 国際交流

点検項目【11-1】グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか

【A委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【B委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

【C委員評価】

|   |   |   |   |                                   |
|---|---|---|---|-----------------------------------|
| ④ | 3 | 2 | 1 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|---|---|-----------------------------------|

評価者の意見・質問

特になし。

**【自由記述】**

**A委員：**先生方と生徒の距離が短く、「表現したいこと」、「やってみたいこと」を親身になって相談にのって頂き、学科、ジャンルを超えてのいろんな先生方からアドバイスを頂き（アドバイスだけでなく、休日にもかかわらず、我が子のために先生方が出校してくださりご指導頂いておりました）この学校に入学できて、本当によかったと常に感謝しております。入学者数の数字や就職率の数字に影響されない、「真の教育」をして頂いたと存じます。卒業してからも、お世話になりたいと切に願っております。素晴らしい学校、そして先生方とのご縁が有り、幸せな2年間で家族一同感謝しております。就職後も制作活動を続けていくようです。

**B委員：**1年次に複数の分野を経験した後に1分野を選択できる美術・工芸コースの仕組みなど、現在の生徒の状況に合わせてカリキュラム作成されていることは素晴らしいと感じました。

**C委員：**全てに対し、信用、信頼できると思う。

**【総評】**

3名で話し合った結果、全ての基準で信頼に値する学校であると判断しました。